

# 新日新

シネスコ版

高新=2-2 No.409  
新愛媛=2-2 No.237

No. 574

40.1.15

## 一、スタートした“佐藤外交”

アメリカ訪問を前に東京練馬の自衛隊に姿を現わした佐藤さん。  
力強い観閲行進に威儀を正していました。  
翌日は首相官邸で歓迎会。長老、実力者にはげまされて訪米の心意気を披露しました。  
そして十日、首相として初のアメリカ訪問。恒例のことといわれながらも、佐藤外交路線がもうできあがっているようです。激動するアジアには経済と技術援助、問題の中国の国連加盟には、長期的な再検討をアメリカ側に具申するという腹。そして懸案の沖繩問題は日本の切実な要求を訴え、善処方を依頼するという、極めて積極的な計算を抱いているようです。どうやら今度の訪米は佐藤路線を方向づける重要な日米首脳会談になっているようです。

## 一、海津防衛ならず

東洋ミドル級タイトルマッチ  
プロ・ボクシング東洋ミドル級チャンピオン海津文雄対同級三位金基洙（韓国）のタイトル・マッチ十  
二回戦が東京、後楽園ジムで行われました。  
海津のスタートは、サウスボーイ金のライト・リードを警戒した動きで右フックをカウンタースタミにきめ  
てまずまずの出だし。  
だが回を追ごとに、海津の大振が目立ち、六回後半金は、右アッパーを海津のボデーにきめ、さらに左  
右のアッパーをボデーに連打、六回三分八秒海津をKO。金のあざやかな勝利でした。  
海津の東洋チャンピオン、初防衛も強打金基洙の前にもろくもくずれさりました。

## 一、大島大火

伊豆大島

一月十一日夜、東京都下、伊豆大島の元町は三十数メートルの強風が吹き荒れるなかで火災を引き起  
し、火は瞬時にして町の三分の一をなめつくしてしまいました。  
わずかな不注意が焼失面積十五万平方、焼失戸数三百四十戸、被災者千三百十一人を出してしまつたの  
です。  
大島の中心地元町はたった一晚で灰と瓦礫の町と化し、海から吹きあげる強風の前に、貧弱な消防力は  
ひとたまりもなかったのです。  
この大火は改めて離島の消防力について考えさせられました。消防の主力はもっぱら手押しポンプ、若  
い人達も島をはなれる傾向にあり、ますます手薄になるばかり、こんどのような大火になるとまったく手  
も足も出ないのが現状、島に火を使う生活があるかぎり、火事を出さないという保証はないのです。それ  
がいったん燃えあがったら、ただ炎を避けて逃げる以外にないというのが現状なのです。

586 F

308

145

133

制作・配給

中日新聞  
北陸中日新聞

東京中日新聞  
中日映画社